

# 令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目	工業 実習		単位数	4
対象学年・組	2学年機械科	教科担任	MA:井手・大河原・堀・大塚・伊藤 MB:鷹羽司・深川・堀・谷田部・樋口	
教科書 ・ 副教材	新版 機械実習1・2  実験の手引き			
1. 目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学年時の工業基礎で習得した知識と技術を生かし、機械加工や材料実験についての技能・技術を習得する。</li> <li>・1クラスを4班編成とし、下記4テーマを各班それぞれ1テーマ7週ずつのローテーションで実施する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 旋盤 2. フライス盤 3. 材料試験 4. 電気Ⅱ</li> </ol> </li> </ul>				
2. 学習内容と学習上の留意点				
学期	月	単 元	指導内容・指導目標	予定時数
1 学 期	4	オリエンテーション	以下の内容を1クラス4ショップに分かれ、1年間をかけローテーションで実習を行う。	8
	5	1. 旋盤	旋盤検定3級部品の製作を通じて、旋盤の要素作業を学習する。	12
	6		・テーパ切削・ねじ切り作業・穴ぐり作業等を習得する。	16
	7		・テーパ切削・ねじ切り作業・穴ぐり作業等を習得する。	12
	1学期授業時数計			
2 学 期	9	2. フライス盤	豆万力の製作を通じて、フライス盤の要素作業を学習する。	16
	10	3. 材料試験	・平面切削・溝削り・穴あけ・ネジ立て作業等を習得す	16
	11		金属材料の機械的性質を理解する為に、各種試験を実施し、理解する。	12
	12		①引張り試験②硬さ試験③衝撃試験④火花試験	12
	2学期授業時数計			
3 学 期	1	4. 電気Ⅱ	電気工事の知識・技能について学習する。	12
	2		①ケーブルの処理②器具の配線③3路回路・四路回路・パイロット回路④電気工事二種の単位作業を習得する。	16
	3		①ケーブルの処理②器具の配線③3路回路・四路回路・パイロット回路④電気工事二種の単位作業を習得する。	8
	3学期授業時数計			
年間授業時数合計				140
3. 評価の観点・方法				
<p>①学期ごとに提出すべき報告書を期限までに完成させ、提出すること。</p> <p>②各実習の作品を完成させること。</p> <p>③平常点((授業取り組み姿勢・授業態度、報告書の提出状況)</p> <p>上記①②③について項目ごとに評価し、年間に実施するすべての項目の平均評定を基に判断し、5段階評価する。</p> <p>注 本校の実習系科目は限られた授業内で製品の完成を目指すものであり、技能の要素を取り出したものではない。そのため、レポートの提出と製品の完成をもって、総合的な評価を行う。</p>				